

のんのん



京都 西本願寺・唐門の麒麟

願いは花ひらく



岐阜県仏教会
会長 杉山 令憲

「仏教ぎふ」を「のんのん」と改名し、紙面のサイズ・内容を新しくいたしました。

皆様の感想などご意見をいただければ幸いです。

県下には約二千の寺院があり、伝統仏教教団の五十九宗派の関係寺院で構成されています。各宗派には、それぞれの教えがあります。究極の目的は人々が安心して人生を歩めるように教義を通じた活動をされており恒す。言い換えれば恒

久平和を願う宗教活動と言えます。

岐阜県仏教会の目的も、世界の恒久平和に寄与していくこととであり、そのためには加盟寺院相互が連絡・協力して、情報交換・研修等を通じて様々な課題に取り組むことが重要と存じます。ここで大切なことは、各寺院の理解と協力が不可欠だということです。

経済活動において、費用対効果を問う事柄があります。宗教活動においてもそうではないか。確かに経済的な一面はあります。されどそのことに、価値を求め仏教会の活動を対価的に判断するとすれば、慈悲の活動とは言えなくなります。岐阜県仏教会は世界の平和を願うとともに、社会のために貢献していく活動、「平和の鐘事業、家族でお経を習おう運動、真の心に目覚めよう運動等」を推進しています。

又、寺院の存在は檀信徒の皆様なくしては成り立たないと思っております。みんなの手を取り合せてこそ力を発揮できると信じております。

どうかより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合掌

ようえいたい* 栄叡大師

「栄叡なくして鑑真なし」
かんしん

戒律・『法華経』・仏教文化・

葉草など多くのものごとを日本にもたらした鑑真和上。もし鑑真和上が日本に来られなければ、日本仏教のほとんどの宗派がなかったといつても過言ではありません。その鑑

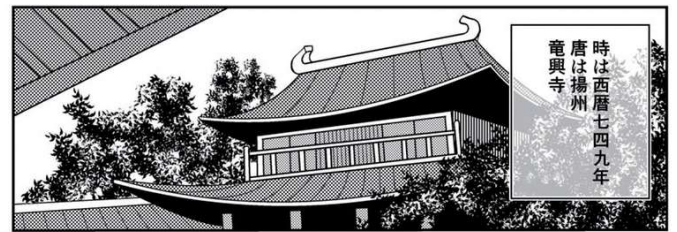
真和上を命がけで日本に招来したのが栄叡大師です。栄叡大師は残念ながら唐（中国）の地に亡くなられてしまいましたが、その思いを受けて鑑真和上は命を賭して日本にやっつてこられ、日本仏教の祖となられました。

栄叡大師は美濃出身。岐阜県仏教会では栄叡大師を顕彰する会をおこなっています。

本年、令和二年十一月二十日（金）に美濃加茂市伊深の正眼寺で、修復された栄叡大師坐像の開眼法要を行う予定です。詳しくは県仏教会事務局まで。



***大師 たいし**
一般的に大師とは朝廷から授与された尊称・諡号で、読みは「だいし」。
一方、栄叡さまに関しては優れた仏教の師匠という意味で「たいし」と読み、尊称としました。



時は西暦七四九年
唐は揚州
竜興寺

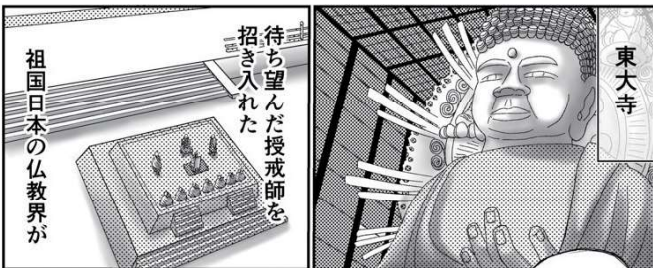


《栄叡》
第九回遣唐使船で唐に渡った留学僧。日本の乱れた仏教界を正すべく、鑑真和上を授戒師として、その生涯を賭した。

病に倒れた栄叡は夢を見た……



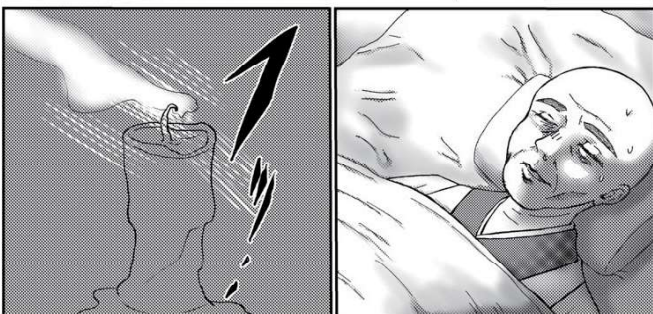
幾度にも渡る命を賭けた渡航が失敗した末……
六度目にして遂に日本の土を踏む
鑑真和上……



待ち望んだ授戒師を招き入れた
東大寺
祖国日本の仏教界が



本来あるべき姿を
取り戻す様を……



「この仏像をご存知ですか？」 岐阜県の重要文化財



毘沙門天 立像 (岩滝山毘沙門堂)

重要文化財、鎌倉時代の慶派の作と考えられる。檜材寄木造玉顔、像高 150cm の大きな尊像。縁起によれば行基菩薩の作。岐阜市の東部岩滝の権現山の南麓に祭祀。参道を登ると仁王門が、その先に堂宇がある。毎年1月の初寅と8月15日の大祭に開扉される。

昭和39年京都国宝修理所で後世の彩色が除かれ、造像当時の鮮やかな彩色がよみがえった。甲冑に身をかため、腰をひねり、右手に三叉戟 [みつまたほこ] を持ち、左手に宝塔をささげて、邪鬼を踏んだ緊張感漲った姿は見るものを圧倒させる。

真言 オンベイシラマンダヤソワカ

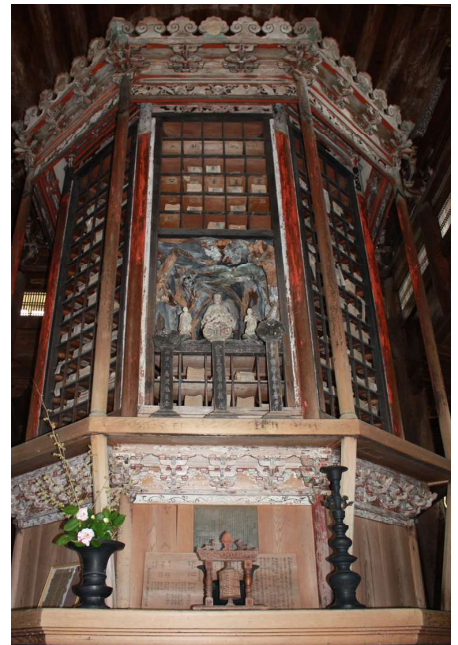
合掌

所在地 岐阜市岩滝東

落書きが残る国宝

安国寺は南北朝時代に室町幕府が諸国に設置した寺院です。全国的な内乱による多くの戦没者を敵・味方の区別なく弔う目的が背景にあり、平和な世の中を願うその心は、未だに戦争が途絶えない現代に改めて見つめ直されるべき精神だと思います。

安国寺には飛騨地方唯一の国宝建築である経蔵があります。内部の輪蔵は国内現存最古のもので、元版大蔵経が納められています。建物のあちこちに結縁を願う人々の落書きが生々しく残っており、歴史を感じることができます。



経蔵内の八角形輪蔵

寺院紹介

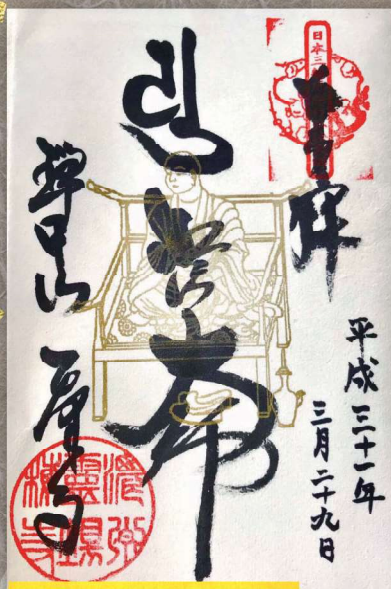
安国寺

住職 堀 祥岳

高山市国府町西門前 474

之寺

本の意匠を
朱印

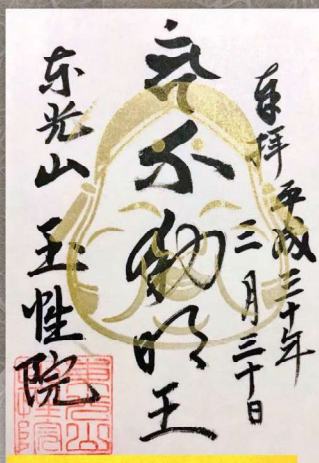


F 乙津寺

金の弘法様の
御朱印

G 日龍峯寺

金文字の御朱印
(月替り)



H 玉性院

金のお福さん
の御朱印

I 醍醐寺

阿弥陀如来の
金の御朱印



黄金の國ぎふアンバサダー
やながせゆっこ



朱印めぐり

ぶじ 寺	古義真言宗 関市下之保 4585
ん 完	真言宗醍醐派 岐阜市加納天神町 3-8
ん 寺	西山浄土宗 岐阜市石原 3-60-1

地域活性化の一環で金の信長像・金神社・金華山を二本柱に始まった黄金プロジェクト。黄金週間(GW)には黄金の國・岐阜へ！とアピールするなか、さらに人々の縁となる魅力をと誕生したのが、毎月最終金曜日限定の「金の御朱印」。

今では賛同寺院も増え岐阜各所で賑わいをみせている。全国的にもプレミアムフライデーの成功例と話題になり、経済産業省からも表彰された。御朱印は収集目的ではなく、感謝とお礼のお参りのご縁にと今後も参加寺院を募集し、更なる広がりが期待される。



開催情報

ご寺院様の参加希望などのお問い合わせ

090-7026-1010

info@hitohito.biz (ひとひとの会)

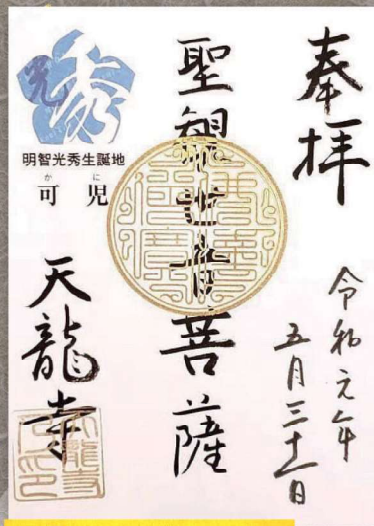




B 真長寺

朱印の釈迦如来像と金文字の御朱印

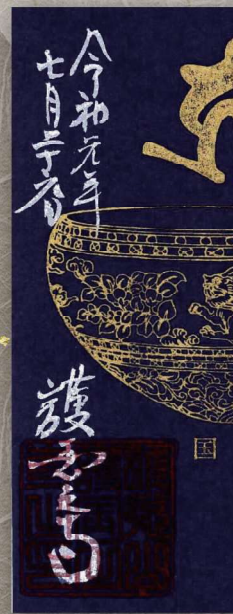
C 関善光寺 (宗休寺)
元三大師と種字の御朱印



D 天龍寺

三宝印と天龍寺の角印の金泥御朱印

E 護国寺
国宝の御朱印
施した御朱印



A 弘峰寺

不動明王、または月替りの御朱印

毎月最終金曜日は
ぎふ金の御

A	こうぼうじ 弘峰寺	高野山真言宗 岐阜市長森 944-99
日本最大級の岩窟本堂を有する寺院。弘法灸の体験も行っている。 ※書き置きのみ		

B	しんちょうじ 真長寺	高野山真言宗 岐阜市三輪 778-1
国重要文化財である国内最大の釈迦如来座像を安置し、名勝枯山水の石庭を有する。		

C	せきぜんこうじ 関善光寺 (宗休寺)	天台宗安楽律法流 関市西日吉町 35
元三大師ゆかりの寺院で、日本唯一の卍戒壇巡りや「五郎丸ポーズ」の仏像が有名。		

D	てんりゅうじ 天龍寺	曹洞宗 可児市瀬田 1242
明智光秀ゆかりの寺院で、日本最大の光秀のお位牌を安置。 ※書き置きのみ、16:00 まで		

E	ごこくしじ 護国之寺	高野山真言宗 岐阜市長良 194-1
岐阜市唯一の国宝「金銅獅子唐草紋鉢」を所蔵する寺院。		

F	おっしんじ 乙津寺	臨濟宗妙心寺派 岐阜市鏡島中 2-8-1
「鏡島の弘法さん」の愛称で親しまれ、「日本三躰厄除弘法大師」の一つに数えられる。		

G	にちりゅうじ 日龍峯	美濃西国霊場一番 た舞台造りを持つ
----------	----------------------	----------------------

H	ぎょくしょうじ 玉性院	「節分つり込み祭り」 有名な寺院。
----------	-----------------------	----------------------

I	だいでいじ 醍醐寺	足の神である韋駄 愛好家にも親しま
----------	---------------------	----------------------

※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、各寺院ごとに御朱印の対応が異なります。詳しい開催情報は、右記 QR コードに

狸狸庵法話

「時ソバ」

松久宗心

昨年の暮れ大変珍しい行事に参加させていただきました。多分全国の刑務施設において初めての試みだったでしょう。岐阜刑務所における、落語クラブの初の発表会でした。岐阜刑務所は、

十年以上の長期刑再犯者の収容施設で、無期刑の収容者も多く含まれます。同所では長期収容者の身心安定のため、三年前から月一回一時間のクラブ活動を認めてきました。その中に、落語クラブがあり、東京の落語家、真打の古今亭菊千代さんがボランティアで月一回指導に来ておられました。

今回はクラブの三年間の成果を披露する初めての会でありました。中部管区の各刑務所長さん始め、関係諸団体の代表者三十数名の前

で四人の収容者が発表をしました。皆、菊千代先生から羽織・扇子・手拭いを借り、緊張の中、演台の座布団の上に坐り熱演しました。特に最後の人は「時ソバ」を人物に成りきり、しぐさも、間もすばらしく、聴衆は皆、心から本当に笑っていました。涙を流して笑っていました。

刑務所内では、日に十五分運動する場はありますが、声を出して落語を練習する場はありません。先生からいただいた二十分程の演目の長い原稿を、黙読で覚え、同室の人に迷惑がかからないよう、密かに練習を重ねて、大会に臨んだと思われず。

落語を少しでも上手に演じ聴衆に喜んでもらいたいの収容者の思いの中に、仏さまと変わらぬ心があると確認でき、爽やかな気持ちになった大会でありました。



精進料理

伊深 正眼寺と

「臭木(くさぎ)と大豆の佃煮」

レシピはここから



「臭木(くさぎ)」という名を聞いただけで拒否反応があるかもしれない。美濃加茂市伊深町周辺ではこの臭木を「常山(じょうざん)」と呼ぶ。

南北朝時代、正眼寺の関山様が村人に伝えたであろう臭木の食文化が残る。

6月初め、臭木の新芽を避けて丁寧に葉だけを摘む。この葉を、沸騰した鍋で約20分位茹で、冷水に入れて晒す。この晒しを、朝と晩に水を換えて、悪臭が抜けるまで3~4日続ける。そして晴天時に、早



朝より水から絞り上げた臭木の葉を一枚一枚広げてゴザやムシロの上に干し、一日で乾燥させる。この乾燥臭木は、保存食でもある。

さて、伊深の伝統的臭木料理は「臭木と大豆の佃煮」で、毎年10月12日の正眼寺開山忌で食される。この佃煮は、関山様が悪臭のある臭木を差別することなく受け入れ、工夫と丁寧さによって臭木を生かした精進料理である。



栄叡大師奉賛会 法人会員 ご芳名

<p>長谷虎紡績(株) 羽島市江吉良町一九七</p>	<p>(株)トーカイ 岐阜市若宮町九</p>	<p>昭和コンクリート工業(株) 岐阜市香蘭一</p>	<p>(株)マルエイ 岐阜市入舟町四一八一</p>	<p>(株)岐阜新聞社 岐阜市今小町九</p>	<p>ぎふ農業協同組合 岐阜市司町三七</p>	<p>岐阜信用金庫 岐阜市神田町六</p>	<p>(株)大垣共立銀行 大垣市郭町三</p>	<p>(株)十六銀行 岐阜市神田町八</p>
<p>(株)東海ヒューム管 岐阜市三輪九七九一</p>	<p>学校法人 杉山学園 岐阜市村里二二</p>	<p>眞福寺 岐阜市長良二四九二</p>	<p>河野 西福寺 岐阜市島田西町八五</p>	<p>金證寺 山県市洞田五二三</p>	<p>大龍寺 岐阜市粟野二三三九</p>	<p>レストハウス夕雨 羽島郡笠松町長池二八一</p>	<p>(株)国井組 岐阜市一日市場一</p>	<p>(株)大野春堂 岐阜市早田大通り一</p>

ご協賛各位 ご芳名

<p>真宗大谷派 岐阜別院 輪番 出雲路善公 岐阜市大門町一番地 電話 ○五八一二六二一三三八〇</p>	<p>浄土真宗本願寺派 本願寺岐阜別院 輪番 泉井文人 岐阜市西野町三丁目一 電話 ○五八一二六二一〇三三一</p>	<p>臨済宗妙心寺派 瑞龍寺 清田保南 岐阜市寺町十九 電話 ○五八一二四六一二五九七</p>	<p>各宗派仏壇仏具・仏壇修理洗濯 岐阜東別院南 (有)宮本佛壇店 岐阜市小熊町二丁目 電話 ○五八一二六三一〇七七三</p>	<p>お香・お数珠・仏具 (有)宮本 岐阜市神室町一十四 電話 ○八〇一八二五五八九一七</p>	<p>寺院仏具製作・販売 (有)天真堂 中央社寺工藝社 名古屋市区 城西一丁目十番二一七号 電話 ○五二一五三二一〇六〇七</p>
<p>法衣・仏具・稚児貸衣装 総合アドバイザー 鷺見法衣仏具店 岐阜市光町一丁目 (元忠節駅北) 電話 ○五八一三三一一三三〇六</p>	<p>手造り仏壇ひとすじ 神田仏壇店 岐阜市大門町十一番地 電話 ○五八一二六二一七四二四</p>	<p>岐阜葬具同業組合 (窓口)岐阜市真砂町十一一十二 電話 ○五八一二六二一三三五五</p>	<p>お料理・仕出し 紀文 山県市青波二六二一 電話 ○五八一五二二一〇九〇</p>	<p>石造建築・墓地整備 (株)ウッズトン山田石商 岐阜市山県岩二四 電話 ○五八一三二九一三九〇一</p>	<p>墓石のクリーニング・コーティング等 (株)SAMURAI 不破郡関ヶ原町 関ヶ原九四七一一 電話 ○九〇一三八三八一三九二六</p>

(敬称略・順不同)

皆様からご支援を賜りました。ここに謹んで御礼申し上げます。

岐阜県仏教会・栄叡大師奉賛会・岐阜県檀信徒会

旋風打

新型コロナウイルスに翻弄され、不安や苦しみ
が尽きない中で、私たち
は「どう生きるか？」

達磨大師は弟子慧可に、
「仏道は、精進して行じ
難きをよく行じ、忍び難
きをよく忍び、いやしく
も小徳・小智・軽心・慢
心をもつて、仏道成就を
願うなら、いたずらに勤
苦を労するのみ」と戒め、
精進努力し、堪え忍んで
待てば、時節因縁が好転
するという。

この逸話は、終戦時の
玉音放送「堪え難きを堪
え、忍び難きを忍び」の
フレーズの元でもある。

玉葱は、初秋に種を蒔
き、晩秋頃に苗を植え替
える。冬の間、玉葱は小



さいままだが、厳しい冬
を越せば、玉葱は途端に
大きく成長する。人も玉
葱が大きくなるのと同じ
ではないだろうか。
苦難を乗り越えた先人
達は言う。今は、自分の
信じる道をより所として、
堪え忍んで「今を生きる」
以外に進むべき道はない。
時間が掛かっても、休ん
でも、廻り道をしてもし
いから。

(正光)

京都の国宝

西本願寺 唐門

桃山時代 (1573 ~ 1614 年)

四脚門、前後唐破風造側面入母屋、檜皮葺。

(写真提供：西本願寺 本山)



編集後記

☆『仏教ぎふ』は、新たに

『のんのん』という名で年
刊誌として生まれ変わら
りました。「のんのん」とは
「ののさま」「のんのんさ
ま」という、仏さまを表す
俗語から取った名前です。

☆やっと辿り着いた感があ
ります。岐阜県仏教会の

伝統的な会報である『仏教

ぎふ』を大幅変更するには

紆余曲折がありました。

紙と文字の文化が薄れて

いくという時代の変化。

それに対応できるだけの

情報発信誌。それをゴー

ルにして、出版委員会の

メンバーは出発しました。

暗中模索の中、色々な意

見もありました。文字数

を増やすべき、写真や絵

が基本、反対意見が飛び

交う中、誰もが読み易い

を基本にし、今まであま
り取り上げなかった内容
を掲載できたように思い
ます。

☆関わっていただいたメン
バー、温かく見守って下
さった先輩同輩、特に若
い方々には深く深く感謝
したいと思います。彼ら
彼女らの感性がなければ、
決して生まれなかつたで
しょう。

☆まだまだ未完成です。

数年かけて、時代にあわ

せ変化するもの、変化し

ないものを見極め、より

良きものとなつていくよ

うにしたいと思えます。

皆様のご支援、深くお願

い申し上げます。

☆今まで掲載してきました

各地域の動きなど諸々の

ものは、今後はホーム

ページに掲載します。

検索 岐阜県仏教会



仏教ぎふ

通算 第112号

『のんのん』第1号

発行 令和2年5月1日
(仏暦 2563年)

岐阜県仏教会事務局

〒500-8882

岐阜市西野町3丁目1番地
岐阜西別院内

☎ 058-266-7803

編集 出版委員会

岐阜県仏教会

検索

URL bukkyogifu.net